

气象台ノート

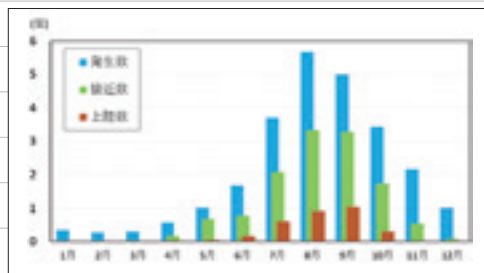
台風について

北西太平洋に存在する熱帯低気圧で、中心付近の最大風速が約17m/s以上のものを「台風」と呼んでいます。台風は、東風が吹いている低緯度では西に移動、太平洋高気圧の縁をまわり北上し、上空の西風により北東へ進むなど、上空の風などの影響を受けます。

30年間(1991~2020年)の平均では、年間で約25個の台風が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近、約3個が日本に上陸しています。8月から9月が一番台風の発生や接近、上陸の可能性が多くなる時期ですが、北海道でも過去には

10月に苫小牧市付近に上陸した記録があります。

台風接近時には、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる「キキクル」や气象台が発表する防災気象情報に留意し、迷わず避難行動に移しましょう。



月別の台風発生・接近・上陸数の平均値 (1991年~2020年の30年平均)

問い合わせ 室蘭地方气象台 ☎0143-22-4249

発表します! /

将来の夢

上厚真小学校6年



たてやま だいせつ
館山 太雪くん



ふじの とらのすけ
藤野 虎ノ輔くん



すずき にこ
鈴木 笑瑚さん



こばやし たいよう
小林 太陽くん



ただだ しゅうめい
武田 秀明くん